

進路通信 2018/05 前期

平成26年度入試に推薦入試Ⅱが導入された際は、前期日程が61名減りましたが、推薦

増員分は、前期日程から75名、後期日程から10名を減らすことで対応します。

また、推薦入試ⅠAおよびⅠBでは、面接と口頭試問（数学ⅠAⅡBと理科）が実施されます。理科の科目についてですが、生産工学科は、再編前と同じく「物理基礎」から出題されます。生産科学科は「物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目」（2科目から負担減）へ変更されます。学科再編に伴い受験者が不利益にならないようにするための配慮です。

■ 室蘭工業大学の推薦入試結果と平成31年度推薦入試について ■

以下の表は、平成23年度以降の推薦入試の受験者数と合格者数をまとめたものです。

学科	形式	募集人員	合格者数／受験者数			形式	募集人員	合格者数／受験者数				
			H23	H24	H25			H26	H27	H28	H29	H30
建築社会基盤系	推薦A	15	18／27	20／37	16／49	推薦ⅠA	8	14／37	16／51	12／58	13／47	12／44
	推薦B	3	3／9	1／1	3／5	推薦ⅠB	3	2／4	2／5	3／8	3／4	3／6
機械航空創造系	推薦A	15	17／30	21／35	19／43	推薦ⅠA	11	18／39	17／47	15／38	19／44	23／44
	推薦B	3	3／6	0／2	2／4	推薦ⅠB	3	5／5	5／10	4／8	4／5	5／6
応用理化学系	推薦A	18	22／26	20／34	27／36	推薦ⅠA	22	23／34	35／58	22／46	25／45	33／50
	推薦B	2	1／1	0／2	0／0	推薦ⅠB	2	1／1	0／1	0／0	0／1	1／1
情報電気工学系	推薦A	16	21／45	19／43	24／44	推薦ⅠA	14	26／32	27／46	26／44	20／36	26／35
	推薦B	0	4／6	2／4	2／4	推薦ⅠB	3	7／9	4／6	0／4	3／7	2／3
						推薦Ⅱ	20	25／45	32／42	22／35	20／47	21／28
						推薦ⅡA	41	79／139	70／176	65／168	66／151	75／141
						推薦ⅡB	26	26／44	30／50	27／43	32／58	40／59
						推薦ⅡA合計	64	78／128	80／149	66／172		

学科	形式	募集人員 H31
生産工学科	推薦ⅠA	70
	推薦ⅠB	6
生産科学科	推薦ⅠA	50
	推薦ⅠB	5
	推薦Ⅱ	38

推薦入試ⅠAは、募集人員よりも多く合格者を出していることがわかります。合格率は、年度によりばらつきがあり、約4割から5割5分です。

来年度、推薦入試ⅠAでの募集は実質的に2倍以内の増加と見ることもできそうです。

4. 昼間コースの一般入試の変更について

学科再編に伴い受験者が不利益にならないようにするための配慮として、昼間コースの前期日程に変更があります。

- ① 受験科目について
「生産工学科」は、現在の「建築社会基盤系・機械航空創造系・情報電気工学系学科」に準じ、「生産科学科」は、現在の「応用理化学系学科」の受験科目に準じます。
- ② 配点について
・まずセンター試験ですが、「生産工学科」「生産科学科」とともに、現在の「建築社会基盤系・機械航空創造系・応用理化学系学科」の配点に準じます。具体的には、英語（リスニング含む）は200点に換算し、地歴公民は50点に圧縮して、理科は200点を1.5倍して300点に換算します。合計は850点です。
・次に個別学力試験（2次試験）ですが、従来と変わりなく数学300点です。
なお、昼間コースの後期日程、夜間主コースの受験科目、配点に変更はありません。

5. 制度変更が行われる初年度の心構え

現3年生にとっては、一般入試の難易度に変化が見られるかどうかについては不透明な部分ありますが、難化するのか易化するのかを心配する前に、日々の授業を大切に学習を続けることが何よりも大切です。部活動がある生徒は、最後まで両立を図りながら頑張らしましょう。当面は、北見工業大学、公立はこだて未来大学、公立化される予定である千歳科学技術大学の志願予定者の動向と、室工大の平成31年度推薦入試ⅠA・ⅠBでの志願者数と合格者数については、注目すべき情報となりそうです。1、2年生の皆さんも、推薦・AO入試が拡大されていくとされている国公立大学の研究は、今のうちからしっかりとしたいものです。

★プレテスト（試行調査）、記述式の採点結果は？

3月26日、大学入試センターは昨年11月に実施したプレテスト（試行調査）の記述式の採点結果を公表しました。尚、マーク式に採点結果は12月中に出されており、進路通信でも述べています。

	解答類型	割合 (%)
問1	ア 条件①～④のすべてを満たしている解答	43.7%
	イ 条件②～④を満たしている解答（①のみ満たしていない）	2.2%
	ウ 条件①～③を満たしている解答（④のみ満たしていない） 又は 条件①、②、④を満たしている解答（③のみ満たしていない） 又は 条件②、③、④を満たしている解答（②のみ満たしていない）	32.2%
	エ 条件①、②を満たしている解答（③、④は満たしていない） 又は 条件①、③を満たしている解答（②、④は満たしていない） 又は 条件①、④を満たしている解答（②、③は満たしていない）	14.1%
	オ 上記以外の解答	5.4%
力	無解答	2.3%

	解答類型	割合 (%)
問2	ア 条件①～③のすべてを満たしている解答	73.5%
	イ 条件①、③を満たしている解答（②のみ満たしていない） 又は 条件②、③を満たしている解答（①のみ満たしていない）	0.0%
	ウ 条件③を満たしている解答（①、②は満たしていない）	0.0%
	オ 上記以外の解答	23.4%
力	無解答	3.0%

	解答類型	割合 (%)
問3	ア 条件①～④のすべてを満たしている解答	0.7%
	イ 条件①、③、④を満たしている解答（②のみ満たしていない） 又は 条件②、③、④を満たしている解答（①のみ満たしていない）	0.1%
	ウ 条件③、④を満たしている解答（①、②は満たしていない）	0.0%
	エ 条件①～③を満たしている解答（④のみ満たしていない） 又は 条件①、②、④を満たしている解答（③のみ満たしていない）	11.1%
	オ 上記以外の解答	81.6%
力	無解答	6.6%

		割合 (%)
問（あ）	正答	2.0%
	誤答	48.2%
	無解答	49.8%
問（い）	正答	4.7%
	誤答	38.3%
	無解答	57.0%
問（う）	正答	8.4%
	誤答	45.1%
	無解答	46.5%

次に数ⅠAについて。
問（あ）・・・2次関数
問（い）・・・三角比
問（う）・・・データの分析

特徴的なのは無回答が約50%を占めていること、正答率がかなり悪いことになるでしょう。

本校の高3が実際に受験していますが、自分が解いたときの印象と比べてみましょう。

プレテストの分析については各予備校、各事業所でされており、教員向けに説明会も行われています。湖陵の先生方が参加する

場合、進路通信でこれから紹介していく予定です。

尚、今回の採点の仕方については以下の通り。
採点者は1000人。同じ答案を2人が採点し、評価が一致すれば採点結果として登録される。一致しなければ、経験豊富で採点者の指導も担当する「採点リーダー」が採点し、2人のうちいずれかと一致すればその結果が登録される。それでも一致しない場合は、採点責任者の「統括採点リーダー」が総合的に判断する。

まずは国語。
問1・・・50字以内
問2・・・25字以内
問3・・・80～120字以内

少ない記述は正答率は比較的高いのが分かります。

厳しいのは長文の問3。模擬試験でもなかなか出題されていないのが現実です。正解者がほとんどいなく、条件を満たしていない生徒が80%を超えています。

但し、国公立大の2次試験では120字程度は出題されているのが現状です。